

第百四十七話 統一されていない「終戦」概念

一口に終戦と言っても、様々である。我々には常識でも、全く考えの異なる者も居る。我々の常識では、8月15日が終戦記念日であり、それ以外はないと思っているが、果たして、どうなのだろう。呼称も日付も異なる色々な終戦がある。統一されていないのは、色々な思惑が絡み合っているからだろう。終戦について考えてみたい。

1 呼称の様々

小生は「終戦記念日」と言っているが、良く気を付けてみれば「終戦の日」というマスコミもあり、口の悪いものは別の言い方をする。

(1) 終戦記念日、終戦の日、敗戦記念日（又は敗戦の日）、降伏記念日（又は降伏の日）等がみられる。色々な思惑が見え隠れする。

(2) マスコミ等（以下のように区分されているようだ。）

「終戦の日」派：NHK、テレビ朝日、フジテレビ、TBS

「終戦記念日」派：時事通信、共同通信、毎日新聞、読売新聞

両方使用派：日本テレビ、朝日新聞、日経新聞

(3) 記念日との語彙を使用しない理由は、「記念日」との語彙にはお祝いの要素が感じられることから抵抗感があると云うことらしい。総理談話等では「終戦記念日」だ。

2 日付

我々は何の疑いもなく8月15日と考えているが、色々な見方がある。

抑々、「終戦」とは何か？「戦争当事者間の戦争終結合意」が終戦であることは事実だが、終結合意を何時の如何なる事象をもって捉えるかで日付が異なる。

(1) 8月15日 日本人の一般的常識、(国民が齊しく終戦を認識した日)

米英支のポツダム宣言受諾を受け入れることを表明した終戦詔書を
玉音放送により国民に周知した日



(2) 8月14日 日本がポツダム宣言受諾を連合軍各国に通知した日、終戦詔書の日付もこの日である。

(3) 8月16日 日本軍に対する停戦命令が発せられた日（自衛のための戦闘行動以外停止）

(4) 9月2日 降伏文書に調印（即日発効）した日

(5) 4月28日 サンフランシスコ平和条約発効（国際法上正式に戦争状態終結）

3 関係国の終戦日

(1) 米、英、仏、加： 9月2日を対日戦勝記念日、記念イベント等あり

(2) 中国：9月3日（2014年に9月2日の翌日を独自の対日戦勝記念日と決定）

厳密には日本の支那派遣軍と国民政府は9月9日に降伏文書調印、対日戦の当事者ではないと思うのだが・・・

(3) 露、ソ連：ソ連は、9月2日は北方領土侵攻発動日であるので、翌日の3日にした。露は2010年に9月2日を戦争終結日と決定（連合国の一員をアピールするとともに、北方領土支配を正当化せんとする狙いもある由。）

4 学校教科書

小中学校の教科書：8月14日か8月15日が殆ど

高校の日本史：多くが9月2日を終戦の日としている。

5 政府の公式的見解はなく、8月15日を「戦没者を追悼し平和を祈念する日」と定めているが、言外には、8月15日を終戦記念日と認めていると考えて良いだろう。

* 法的手続き上、終戦は9月2日だろうが、当事者間の合意があった8月14日も有力だが、心情的には8月15日こそが終戦記念日に相応しいと思う。

（第百四十七話 了）